

(一社)四国ツーリズム創造機構の「2024年度の事業計画」を公表いたしました

本日6月18日（火）、（一社）四国ツーリズム創造機構は、「2024年度の事業計画」を公表いたしました。

昨年5月に、新型コロナウイルス感染症の扱いが「5類」に引き下げられるなか、四国における宿泊者数は日本人・外国人ともに回復が進んでおり、全体では、14,568,220人泊に達するなど、コロナ前の2019年を上回る結果となっています。

とりわけ、インバウンドに関しては、四国4県の空港で定期便の再開や、チャーター便の運行が続いており、その回復は目覚ましく、昨年10月に2019年同月比100%を超える結果となっております。

こうしたなか、今年度は、いよいよ来年2025年4月に開催が迫る大阪・関西万博に向けた「旅マエ」プロモーションが特に重要となる年となります。

今回発表しました「事業計画」では、これらを念頭に、プロモーションを含め四国ブランドの確立と国内外からの誘客拡大に向けてさらに取り組んでいきます。

具体的には、昨年、西日本の広域連携DMO4者（関西観光本部、せとうち観光推進機構、山陰インバウンド機構、当機構）間で締結した連携協定に基づき立ち上げた共通ランディングページ（「Greater West Japan」）を活用して訪日観光客の広域的な誘客と流動拡大を図るとともに、イギリス・ロンドンに設置した現地セールス拠点「欧州レップ」からの現地旅行会社への積極的なセールスにより四国の認知度向上を図ってまいります。

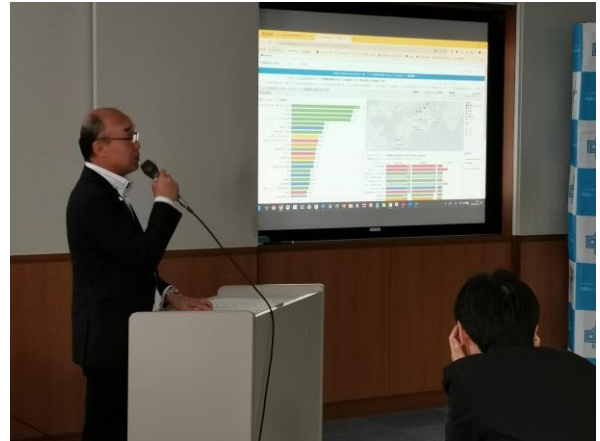
また、四国観光・旅アプリ「しこくるり」や四国観光商談会（東京・大阪）などの事業を継続するとともに、2020年度から取り組んでいる「持続可能な観光」の推進、万博+観光ポータルサイト「Expo2025 Official Experiential Travel Guides」への四国のアドベンチャートラベルに関連した旅行商品の掲載、国際的に影響力のある海外向けメディアを活用した情報発信など効果的なプロモーションの展開などを実施してまいります。

最後に、観光データの収集と可視化を推し進めるために2022年度に構築したDMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）については、更なる利活用の向上を図るため、県やDMO、観光事業者などを対象にワークショップを開催してまいります。

今後も、四国4県や観光協会、域内DMO等と情報共有、連携強化を図りながら、オール四国での観光誘客の拡大と「四国ブランドの確立」に繋げていきます。

(写真)

○ 6月18日（火）の半井代表理事、桑村本部長による記者会見の様子



(一社) 四国ツーリズム創造機構公式HP
URL : <https://shikoku-tourism.com/>

お問合せ

(一社) 四国ツーリズム創造機構

担当：神野、藤井

TEL 087-813-0431

2024年度 事業計画基本方針

2023年の年間訪日外客数は、25,066,100人となった。4月の水際措置撤廃以降、訪日外客数は右肩上がりであり急回復を遂げ、単月では10月に初めて2019年同月比100%を超えており、年間累計では2019年比78.6%と8割程度まで回復が進んだ。

2024年度は、「大阪・関西万博」の1年前となることから、旅エプロモーションを中心に事業を展開する。













四国観光・旅アプリ「しこくり」や四国観光商談会（東京・大阪）などの事業を継続するとともに、2020年度から取り組んでいる「持続観光な観光」の推進、万博＋観光ポータルサイト「Expo2025 Official Experiential Travel Guides」へ四国のアドベンチャートラベルに関連した旅行商品の掲載、国際的に影響力のある海外向けメディアを活用した情報発信など効果的なプロモーションを展開する。

また、2022年度に開発した「データ・マネジメント・プラットフォーム（DMP）」については、2024年度も県やDMO、観光事業者などを対象に、ワークショップを開催し、更なる利活用を目指す。

そのほか、大阪・関西万博からの訪日客誘客を目指し、昨年5月に4つの広域連携DMOで連携協定を締結し、共通のランディングページを制作したが、更に内容を拡充し、また、他の連携事業を進めることで広域での情報発信に努める。

| | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|---|
| ブランド ン グ事業 | 四国内外DMOや関係団体との連携強化 | 大阪・関西万博を見据えた西日本の広域連携DMOとの連携による広域周遊観光の推進 |
| | 四国の魅力発信事業 | 過去制作した5つのPR動画を活用した効果的なプロモーションを実施 |
| | サステナブルツーリズム推進事業 | 「四国」持続可能な観光」推進ネットワーク」メンバーと連携し、「サステナブルアイランド四国」のブランドの確立を目指す |
| | 四国観光・旅アプリ「しこくり」 | 「旅ばす」登録施設や「デジタルチケット」の商品の充実とPRの強化。また、WEB版（多言語）では、「旅ばす」施設でのキャッシュレス化 |
| | 航空会社とのタイアップキャンペーン | 海外旅行会社のFAMツアーの実施や国際線での動画配信によるプロモーションを実施 |
| マー ケ ティ ン グ 事 業 | 海外メディアを活用した四国アドベンチャートラベル情報発信事業 | 国際的に影響力のある海外向けメディアと連携し、四国のアドベンチャートラベルの魅力を伝える記事を作成・掲載し、情報発信を行う |
| | 四国アドベンチャートラベルに対応するスルーガイド育成事業 | ガイドの柔軟な対応力やサステナブルについての知識、安全管理の対応など、ATに対応するスルーガイドの育成を行う |
| | インバウンド地方誘客に向けた四国旅行商品造成促進事業 | 欧米豪、東アジア、東南アジアのエージェント、在日ランドオペレーター等を招請し、FAMツアーと四国内事業者との商談会を実施 |
| | アドベンチャートラベル販売促進事業 | パナマで開催されるATWSへ四国ブースを出展し、ATを取り扱う旅行会社等と、四国の旅行会社のネットワークを構築を図るとともに、AT商品の販売促進を行い、四国への誘客に繋げる |
| | 海外旅行博出展事業 | 欧州で開催されるBtoB旅行博に出展予定 |
| | To B向け情報発信事業 | 旅行セールス等で名刺交換した情報を活用し、四国の観光情報を定期的にメルマガ形式で配信するとともに、四国の飲食店・宿泊施設のリスト化やATコンテンツのタリブについて、掲載内容のメンテナンスと拡充を図る |
| | 欧州向け外国人観光客誘致促進事業 | ロンドンに設置したセールス拠点「欧州レップ」を活用し、旅行会社へのアプローチが有効で他の英語圏への拡散も見込めるイギリスを中心として、欧州の旅行会社へ継続的に情報発信を行い、四国の認知度向上を図る |
| | 台湾商談会開催事業 | JTB協定旅館ホテル連盟四国支部、四国アライアンスと連携し、台湾商談会を開催 |

事業概要 ※主要事業のみ記載

| ブランディング戦略 | | マーケティング戦略 | | 組織戦略 | | |
|---------------------|---|----------------------------------|--|--|---|---|
| 1. 関係団体との連携 | <ul style="list-style-type: none">◆機構会員との連携強化 ・四国各県で意見交換会などを実施◆四国内外DMOや関係団体との連携強化 ・四国内外DMOや四国経済連合会、四国アライアンス等と連携を強化 ・西日本の広域連携DMOとの連携強化 | 1. 観光コンテンツの広域組成・プロモーションと観光消費額の向上 |  四国観光・旅アプリ「しこくり」 ・飲食店、観光スポットの充実や多言語版のキャッシュレス化を行い、利用者の満足度や利便性を向上させ、利用促進を図る |  | 1. 組織・ガバナンス <ul style="list-style-type: none">◆組織の存在価値を高める職員の意識向上◆レベルの高いコンプライアンス遵守（IT、個人情報、著作権等の法令順守）◆組織としてのリスク管理の徹底と継承◆個人の成長、やりがいのある組織風土醸成◆元出向者との連携強化 | |
| |  ◆ツーリズムEXPOジャパン2024出展事業 ・四国4県、JR四国、本四高速と共同で、9月26日～29日に東京で開催される「ツーリズムEXPOジャパン2024」に出展 | |  航空タイアップキャンペーン事業 ・航空会社2社が展開する、「JAL麗らかキャンペーン（4月～10月）」、「ANA誘遊四国キャンペーン（9月～3月）」への支援を行い、首都圏、海外からの誘客を行う | | | 2. 国内・訪日誘客事業 <ul style="list-style-type: none">◆四国観光商談会 ・首都圏及び関西圏で、「四国観光商談会」を実施 東京商談会（10月3日（木））、大阪商談会（10月9日（水））◆JR周遊促進事業 ・特別企画きつぷの販売、駅レンタカー・貸切タクシーの利用促進などを展開するほか、海外の旅行会社担当者を対象にしたFAMツアー、タイ旅行博への出展 |
| | <ul style="list-style-type: none">◆県外事務所を拠点とした情報発信 ・首都圏、関西圏のメディア等への観光情報を発信 | | | | | |
| 2. プロモーションの改革 |  四国の魅力発信事業 ・オウンドメディアによる四国の魅力的な画像を発信 | 3. 訪日誘客事業 |  アドベンチャートラベルの推進 ・海外メディアを活用した四国アドベンチャートラベル情報発信 ・四国アドベンチャートラベルに対応するスルーガイドの育成 ・パナマ開催のATWS（アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット）への出展 | 3. IT基盤の強化 <ul style="list-style-type: none">◆ITリスク管理のための機構内ルール確立と運用◆各種マニュアルの作成◆情報セキュリティ徹底への取り組み◆機構内IT化の推進◆機構内のITナレッジ、スキル向上 | | |
| 3. オウンドメディアの改革 | ・これまで制作した四国観光PR動画の効果的なプロモーションを実施し、四国の魅力を海外に発信 | |  インバウンド地方誘客に向けた四国旅行商品造成促進事業 ・欧米豪、東アジア、東南アジアのエージェント、在日ランドオペレーター等を招請し、FAMツアーと四国内事業者との商談会を実施 | | 4. 人材育成 <ul style="list-style-type: none">◆機構内での計画的な能力開発、専門性向上のための教育制度の確立◆観光庁の外部専門人材制度を活用した機構職員の教育◆働き方改革への取り組み、デジタル活用による職場の充実◆プロバー職員の拡充 | |
| 4. 持続可能な観光への取組 |  サステナブルツーリズム推進事業 ・「四国『持続可能な観光』推進ネットワーク」による、四国が持続可能な観光地である「サステナブルアイランド四国」のブランドの確立を目指す | |  海外旅行博出展事業 ・欧州で開催されるBtoB旅行博に出展し、「アドベンチャートラベル」を中心に商談を実施予定 | | | |
| 5. 人材育成・住民満足度向上への貢献 |  ◆公開講座 ・香川大学大学院地域マネジメント研究科と連携し、観光に関する公開講座を実施 | |  To B向け情報発信事業 ・旅行セールス等で名刺交換した情報を活用し、四国の観光情報を定期的にメルマガ形式で配信するとともに、四国の飲食店・宿泊施設のリスト化やATコンテンツのタリブについて、掲載内容のメンテナンスと拡充を図る | | | |
| | | |  欧州向け外国人観光客誘致促進事業 ・ロンドンのセールス拠点「欧州レップ」を活用し、欧州の旅行会社へ継続的に情報発信を行い、四国の認知度向上を図る | | | |

DMP（データ・マネジメント・プラットフォーム）運用事業

オープンデータ（国内動態、訪日動態、属性）のダッシュボード（可視化）を県、四国内DMO、観光協会や観光事業者などで共有。当機構職員へのスキルアップ講座の実施や自治体、DMO、当機構会員などの関係者にもデータを新規事業構想の際のエビデンスとして活用いただき、訪日外国人の動向を把握したうえで、訪日外国人向けの着地商品の整備など、データに基づいた事業を展開し、四国への誘客に繋げる。